

# ブラジル：市場予想に反し、政策金利据え置きを決定

## 新興国市場へのリスク選好度低下を背景に、利下げサイクル打ち止め

H S B C 投信株式会社

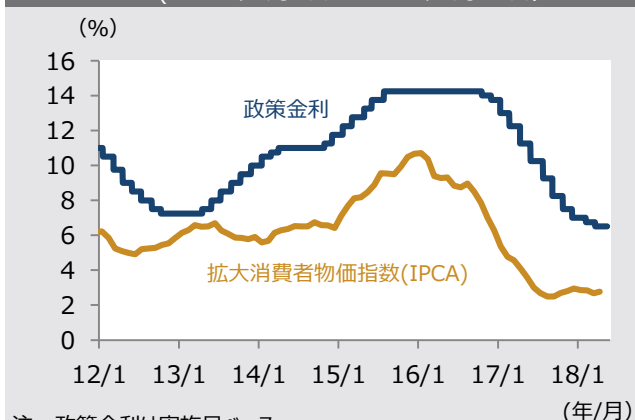
2018年5月17日

- ▶ ブラジル中央銀行は5月16日(水)、市場予想に反し、政策金利を据え置くことを決定
- ▶ 声明では「新興国市場へのリスク選好度が低下している」と指摘し、次回会合でも政策金利据え置きを示唆
- ▶ 当社ではブラジル経済の改善に注目しており、同国の株式・債券市場を引き続き有望視

### 市場予想に反し、政策金利据え置き

- ▶ ブラジル中央銀行は5月16日(水)の通貨政策委員会(COPOM)で、市場の0.25%利下げ予想に反し、政策金利を6.50%に据え置くことを全会一致で決定しました。
- ▶ 中央銀行は、インフレ率の低下を背景に、これまで12回連続で政策金利を引き下げてきましたが、今回は2016年8月以来の据え置きとなりました。

図表 政策金利とインフレ率の推移  
(2012年1月2日~2018年5月17日)



注：政策金利は実施日ベース  
インフレ率は拡大消費者物価指数の前年同月比、2018年4月まで  
出所：トムソン・ロイターのデータをもとにH S B C 投信が作成

- ▶ 中央銀行は声明で「世界情勢の見通しは一段と厳しく、かつボラティリティが高まってきている。この結果、新興国市場へのリスク選好度が低下している」としています。
- ▶ また、委員会は「物価動向は引き続き良好で見通しも目標に沿ったものだが、外的要因から、インフレに対するリスク・バランスに変化が生じている」と指摘し、次回の会合（6月19日・20日）でも「政策金利を現在の水準に維持することが適切と考える」としています。
- ▶ 一方、中央銀行が集計した現地市場関係者の予想（5月11日時点）を見ると、インフレ率 (ICPA)は2017年通年実績の+3.0%から

2018年は+3.45%、2019年は4.00%とやや上昇するものの、今後、来年にかけても目標中央値（+4.5%）を下回る水準での推移が見込まれています。

### 当社では引き続きブラジル株式・債券市場を有望視、レアルの戻りに期待

- ▶ ブラジルでは景気の回復、インフレ率の低位安定、経常収支赤字の縮小など、経済ファンダメンタルズが着実に改善しています。特に景気の回復は一段と鮮明になっており、現地市場関係者は、2018年の実質GDP成長率は+2.51%、2019年は+3.0%と2017年実績の+1.0%からの加速を予想しています。
- ▶ 当社では、ブラジル株式・債券を引き続き有望な投資対象と見ています。株式運用担当者は、景気の回復に伴う企業収益の改善が株式市場の主な上昇要因になると見ています。運用においては、収益性とバリュエーションの両面で妙味がある銘柄に引き続き焦点を当てる方針です。また、債券運用担当者も、相対的に高い利回り水準に妙味があることに加え、引き続きインフレ率の低位安定が債券市場を下支えすると見ています。
- ▶ 一方、ブラジルレアルは、米国との金利格差縮小や10月のブラジル大統領選挙を巡る不透明感を背景に、本年1月下旬以降、対米ドルで下落しています。しかしながら、当社では、レアルは中長期的に堅調推移を見込んでいます。上述のように、ブラジル経済のファンダメンタルズは改善しており、実質金利は高水準、またレアルは最近の下落で割安感を増しています。今回、中央銀行が利下げを見送ったことも、レアル相場にはプラスに働きます。但し、当面のリスク要因として、10月の大統領選挙に向けた動きを当社では注視していきます。

## 留意点

### 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認頂きご自身でご判断ください。

### 投資信託に係わる費用について

購入時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料 上限3.78%（税込）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用（信託報酬） 上限年2.16%（税込）
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。「投資信託説明書（交付目論見書）」、「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」等でご確認ください。

※上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

※費用の料率につきましては、H S B C投信株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、かならず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## H S B C 投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号

加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会



ホームページ

[www.assetmanagement.hsbc.com/jp](http://www.assetmanagement.hsbc.com/jp)



電話番号 03-3548-5690

（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）

#### 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、H S B C 投信株式会社（以下、当社）が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。